

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	富山短期大学	整理番号	2-1-016
応募テーマ	主として総合的取組に関するテーマ		
取組名称	入学前～卒後の一貫した福祉人材養成教育		
申請単位	学科単位		
申請担当者	宮田 伸朗		
<p>(取組の概要)</p> <p>富山短期大学の福祉学科の教育目標は、少子高齢時代の介護を担う、資質の高い介護福祉士の養成である。そのため、短期大学教育 2 年間の枠組みを超え、入学前～在学中～卒業後と 10 年間程度を視野に入れた一貫した福祉人材養成教育、並びに学外実習充実のための施設・事業所の組織化と連携・支援からなる総合システムを構築・実践している。</p> <p>①入学前の教育指導では、高校生の進路選択のための情報提供・相談支援、福祉入門教育としての「高校生セミナー」等、②在学中の教育指導では、自主的学習姿勢を養う「教養演習」、実習を軸にした「事前・事後指導」等実践的専門的指導、ボランティア・社会参加活動の推奨等、③学外実習充実のための各種実習施設組織化と実習指導機能向上のための支援、④卒業後の教育指導では、職場適応・定着支援のための訪問指導、資質向上のための「リカレントセミナー」、「公開セミナー」等の継続学習支援等に、徹底的に取り組んできている。</p> <p>これらの取組は、後続他校にも拡大・継承され、県内養成校連絡協議会も設立される。以上の人材供給総合システムの実践により、地域福祉社会の基礎世代形成に寄与している。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、富山短期大学の教育目的である介護福祉士養成を実現するため福祉学科を新設後、長年にわたって組織的に実施されている取組であり、その実績も成果も評価できます。この取組は特に、入学前から短期大学卒業後までを含めて一貫した介護福祉人材養成という面で、短期大学においても実現可能な教育展開の新しい幅を示すものであり、さらに生涯教育と地域福祉社会への貢献という視点からも特色ある優れたもので、他の短期大学の参考になる事例であると認められます。なお、今後さらに福祉学科のみならず全学的な取組としての発展を期待しています。</p>			